

こくたか 連携だより

2022年発行
第185号
6月号

第23回地域連携症例検討会 2

心臓血管内科部長 福田 延昭

がん放射線療法看護認定看護師の活動 ... 3

がん放射線療法看護認定看護師 長島 春香

感染管理認定看護師の活動 4

感染管理認定看護師 副看護師長 中沢 まゆみ

心不全予防外来のご案内 5

リハビリテーション室だより 6

薬剤部だより 7

医師紹介コーナー 8~9

2022年度市民公開講座のご案内 10

地域医療連携登録医のご紹介 11

セカンドオピニオンのご案内 12~13

外来診療担当表 14~15

院長閑話 16

スイレン

撮影：地域医療支援・連携センター長 佐藤 正通

●地域医療支援病院 ●がん診療連携拠点病院

独立行政法人国立病院機構
高崎総合医療センター



〒370-0829 群馬県高崎市高松町36
代表 (TEL) 027-322-5901
URL <https://takasaki.hosp.go.jp/>

地域医療支援・連携センター(医療機関専用ダイヤル)
(TEL) 027-322-5835
(FAX) 027-322-5925

【理念】

患者さんから信頼される病院を目指します

【基本方針】

- 常に患者さん本位の医療を心がけます
- 研鑽に励み、安全で良質な医療を提供します
- 医療連携を積極的に推進し、地域医療に貢献します
- 良き医療従事者の育成に努めます
- 臨床研究を推進します
- 健全な病院経営を行います

【看護の理念】

人間の尊厳を大切にし、専門的な知識、技術を持ち、心のこもった看護を提供します

【患者さんの権利を守ります】

- 誰でも良質で安全な医療を受ける権利があります
- 患者さんの人格や価値観が尊重され、医療提供者との相互協力のもとで医療を受ける権利があります
- 病気、治療等について、十分な説明を受ける権利があります
- 他の医師の意見(セカンドオピニオン)を求める権利があります
- 病気等について十分な説明を受けたうえで、自分の意志で検査や治療方法を選択したり、他の医療機関を選択する権利があります
- 医療情報に関する個人のプライバシーが守られる権利があります

第23回 地域連携症例検討会

心臓血管内科・心臓血管外科領域 疾患の診断と治療の連携

心臓血管内科部長
福田 延昭



2022年4月19日に第23回地域連携症例検討会を開催させて頂きました。コロナ禍のため対面ではなくWEB形式となったことは残念でしたが、多くの地域の先生方に参加頂きまして、深く感謝申し上げます。今回は、心臓血管内科・外科から下記の5症例提示していますが、いずれも地域の先生からご紹介頂いた症例でした。今回の準備をされていて地域の先生方から多くの症例をご紹介頂いていることを改めて実感致しました。

- 症例①** 息切れの精査にて大動脈弁輪拡張症とそれに伴う重度な大動脈弁閉鎖不全症と診断しました。従来 of Bentall手術では人工弁置換術を追加しますが、大動脈基部のみの手術(David手術)を行い、自己弁を温存することができました。
- 症例②** 腹部大動脈ステントグラフト後の断端リークと胸部弓部大動脈瘤の2箇所に対するステントグラフト治療を行った症例でした。大動脈の分枝のため複雑な手技を要しましたが、経過良好にて退院しています。
- 症例③** 心筋梗塞に伴う心室細動をかかりつけの先生の迅速な処置により心拍再開し、当院にて緊急カテーテル治療を行い冠動脈の再灌流を得ています。心停止に陥りましたが、元気に自宅退院されました。
- 症例④** 心房頻拍に伴う頻脈性心筋症による心不全の症例でした。心不全の改善後にアブレーション治療を行い、洞調律に復帰して順調に心機能が改善して退院しています。
- 症例⑤** 若年の初発の心不全でした。心不全パスを用いて看護師・理学療法士・栄養士・薬剤師・ソーシャルワーカーが連携しながら心不全管理を行えた症例でした。

近年、心不全患者は増加の一途をたどっており、「心不全パンデミック」と称されます。当院の心臓血管内科/外科は、24時間体制で循環器救急疾患に対応しています。心臓血管内科には、虚性心疾患、不整脈、心不全、画像診断チームがあり、各専門家が連携を取り方針を検討しています。そして、心不全では、多職種で群馬県心不全手帳を共通のツールとして患者指導を行い、再入院予防に取り組んでいます。また、本年6月からは高血圧や糖尿病等を持つ心不全予備軍の症例を対象にした新たな「心不全予防外来」を設置致します。隠れ心臓病のスクリーニング、あるいは安定心不全患者の定期評価として利用頂ければ幸いです。循環器疾患における地域連携の輪を今後も強化していきたいと考えております。お困りのことがあればいつでもお気軽にご相談ください。今後ともよろしくお願い致します。

がん放射線療法看護認定看護師 の活動

がん放射線療法看護認定看護師 長島 春香

皆様、こんにちは。若葉が輝かしい季節、いかがお過ごしでしょうか。

がん放射線療法看護認定看護師は、放射線療法を受ける患者さんの看護に対する専門的な知識と技術を学んだ看護師です。放射線療法を受ける患者さんご家族が、放射線治療を決断し、治療を開始する前・治療中・そして治療後に安心して生活ができるように支援をすることが役割です。また、患者さんを支える看護師と、患者さんへの看護について、何が一番良い方法かを一緒に考え、患者さんにあった看護が提供できるように看護師の支援もしています。また、群馬放射線腫瘍研究会看護分科会など県内外の放射線治療に携わる方たちと講習会などを通じ交流し、最新の情報や看護にまつわる意見交換をしております。

近年新型コロナウイルス感染症が流行し、不安や不自由な思いをされている方々も多くいらっしゃると思います。放射線治療センターでも感染対策の視点から治療の体制を変え、ご不便をおかけしている部分もあると思いますが、ご協力いただきありがとうございます。入院の患者さんと外来の患者さんの治療時間を午前と午後に分けたり、病気によっては1回の照射線量を増やして治療回数を減らす照射方法を選択し治療期間を短くするなど対応をしております。また患者さんには来院前に毎日の体温測定と健康観察をお願いしています。放射線治療は、治療期間が比較的長く、必要回数が終了するまで毎日通う必要があります。途中で治療をお休みすると期待している効果が得られないため、治療中の健康管理が大切になります。幸い放射線治療センター内での感染はなく、治療を中止するような事にもならず実施できています。関係スタッフも毎日試行錯誤しながらですが、チーム一丸となって取り組んでおります。

現在の放射線治療センターの体制になって今年で10年目の節目の年になります。放射線治療の件数も2019年度364件、2020年度417件、2021年度474件と年々増加傾向で、子宮腔内照射においても治療の内容が高度になってきています。私たち看護師も患者さんが安心して治療に臨めるように様々な職種のスタッフと協力しながら、日々治療を受ける患者さんの支援に努めております。これからも一人ひとりの患者さんご家族の方々の支えとなれるように精進してまいりますので、どうぞよろしくお願いいたします。

夏は目の前とはいえ季節の変わり目ですので、どうぞご自愛ください。



感染管理認定看護師の活動

感染に強い高崎・安中地域を目指して

感染管理認定看護師

副看護師長 中沢 まゆみ

私は感染管理認定看護師として、当院に係わる全ての方々（患者さん、ご家族の方、面会の方、職員など）を、様々な感染から守るために活動を行っています。また、病院職員や地域連携施設への最新情報の発信、感染対策に関わる相談やアドバイスをとおして、当院の患者さんや地域の皆さんが、より安全な医療と看護が受けられる環境を実現させるよう活動しています。

新型コロナウイルス感染症の流行も3年目に入っていますが、この間に日本では6つの大きな流行の波を経験し、3年ぶりに行動規制のなかった大型連休後の第7波の流行が懸念される所です。こういった中では、1人でも多くの方が、日常の感染対策として自分にできることを着実に積み重ねてゆくとともに、病院、行政、地域のあらゆる関係機関が一体となって協力してゆくことで、地域での感染予防を最大限のものとする事ができると考えています。

当院では、新型コロナウイルス感染症患者を受け入れるために、行政や院内多職種との連携をはかりながら、体制を整えてきました。それとともに、行政からの要請で、クラスターが発生した地域の医療機関や介護施設等を、管轄保健所担当者と共に訪問し、感染拡大の予防のための支援を行っています。訪問した施設では、新型コロナウイルスに対する職員の皆さんの不安な様子がかがえましたが、感染対策に関わる最新の情報や知識を提供し、実践のための技術を一緒に確認することで、正しい知識のもとで、正しい感染対策を行えば、必要以上に恐れることはないのだと、理解を示していただけました。支援後複数回の訪問が行えた施設では、自信をもって感染対策を行う職員の皆さんの姿を見せていただくことができ、医療・介護の担い手が正しい感染対策を行うことで、感染の影響を最小限に抑えることが可能となることを痛感しました。こういった訪問支援をきっかけとして、施設からの相談を頂く機会も増え、早い段階から最善の対策を共に考える機会をもつことができたことから、訪問支援をはじめとする地域一体となった感染対策へむけた活動がとても重要であると感じています。

感染に強い高崎・安中地域を目指すためには、地域全体に感染予防活動を広めていくことが、今の私に課せられた大きな役割であると考えています。今年度の診療報酬改定により、地域のより幅広い多くの医療機関と連携させて頂けることとなったことを一つのきっかけとして、1人でも多くの方が、各々の立場において、正しい感染対策がとれるよう、地域の活動に寄与してゆきたいと考えています。今後ともご指導の程よろしくお願い申し上げます。



高崎総合医療センター 心臓血管内科からのお知らせ

心不全予防外来を開始します

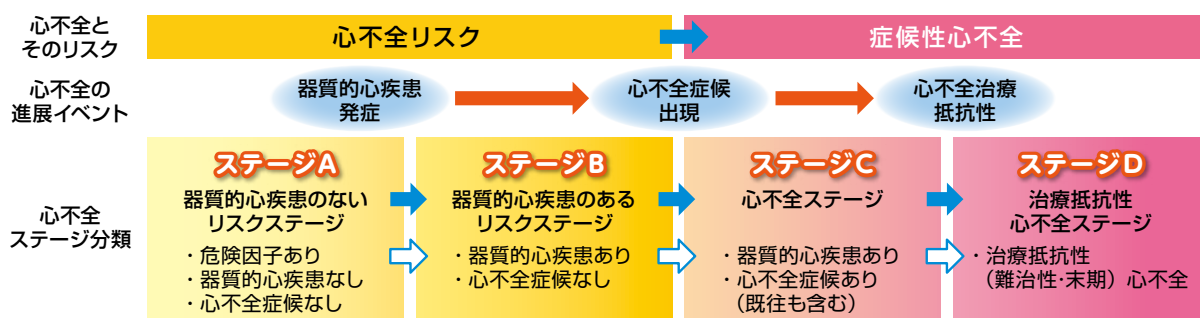
心不全予防外来とは、心不全パンデミックに対して地域連携を活用し、心不全の発症や増悪の予防に特化した外来です。

外来日 第2・4火曜(午後)

*6月14日から開始。当院地域連携室経由でご予約下さい

TEL 027-322-5835 FAX 027-322-5925 (予約方法は通常の診察と同様)

ステージA：高血圧症、糖尿病、睡眠時無呼吸症候群、動脈硬化性疾患など



日本循環器学会 急性・慢性心不全診療ガイドラインより引用

- ステージAの中には隠れステージBも多く存在します
- ステージCは5年以内に40%の方が亡くなるという報告もあります

群馬心不全地域連携協議会HP (<https://www.gunma.med.or.jp/heart/>) より引用

➡ **無症候のステージA・Bからの早期介入が重要です**

特色

- 2人主治医制 (かかりつけ医+専門病院医)
- 心疾患精査 (心エコー検査、心肺運動負荷試験、冠動脈CTなど)
- 多職種による生活指導や生活相談

このような方を対象にしています!

- 心不全一次予防 (ステージA/Bにおける隠れ心不全・心疾患の精査)
- 心不全二次予防 (ステージCの心不全安定期患者に対する再評価)





脱水、熱中症に注意 しましょう

理学療法士 眞道 幸江
作業療法士 石塚 裕大

今年は3年ぶりに外出制限のないゴールデンウィークを迎えました。観光地や街中の人出の増加がニュースになっていましたが、皆さんも屋外へ出かける機会が増え、活動量が上がってきているのではないのでしょうか。梅雨に入ると蒸し暑くなりますので体調管理に注意が必要になります。

総務省消防庁の報告によれば、令和3年の5月から9月の全国における熱中症による救急搬送人員は47,877人でした。年齢区分別では高齢者（65歳以上）が最も多く、全体の56.3%を占めます。次いで成人、少年、乳幼児の順となっています。

感染予防対策のためにマスクの使用を続ける毎日が続いていますが、マスクを着用している状態では、かくれ脱水や熱中症になる危険性が高いです。

マスク着用下で脱水が起こりやすい理由

- ①マスクにより熱がこもりやすくなる
- ②のどの渇きを感じにくい
- ③マスクを外するのが面倒で水分補給の回数が減る

また高齢の方は発汗により体内の水分が失われても、乾いていることを自覚しにくいいため水分摂取が遅れがちになり、気づいた時にはすでに脱水や熱中症が起きてしまっていることがあります。これからの時期は特に感染予防と熱中症等の予防対策の両立が必要となるため、今回は水分摂取量の目安と水分補給時のコツや注意点を紹介します。



高齢者に必要な水分摂取量

高齢者に必要な1日の水分量は食事に含まれる水分込みでおよそ2500mlです。飲む量としては約1000～1500mlが目安です。最低限必要な水分量の目安としては、**30～40ml×体重kg**と一般的にいられています。水分をとるタイミングとしては起床時、朝食時、10時、昼食時、15時、夕食時、寝る前の合計7回に、コップ一杯（200ml）程度飲むことを目安としましょう。喉の渇きを感じていなくてもこまめに水分摂取することが大切です。



注意点

大量の汗をかいた後の水分補給として、水やお茶などの塩分の少ない飲料を大量に飲むと体液が薄まってしまい、水分を取っているにもかかわらず脱水症状になることがあります。脱水症状の対策のためには、水分だけでなく電解質（塩分）の補給も必要です。ただし、腎臓病や心臓病のために塩分制限・飲水制限がある方は適正な飲水量を主治医に確認しておきましょう。



運動をする際の水分補給については運動前に250～500ml、15～20分おきに1回200～250mlの水を飲むことが推奨されています。健康的な体作りや元気な生活を続けていくために、水分摂取をしっかりと行いながら適切な運動を行っていきましょう。

薬剤部だより

季節の花と生薬



薬剤部長 蟻川 勝

6月は梅雨の時期であり、「雨の日はちょっと憂鬱」と思われる方もいらっしゃるのではないのでしょうか。しかし、植物にとっては恵みの雨でもあり、気温の上昇と相まって大きく成長し、花が咲き出す時期でもあります。

6月に花をつける植物には生薬として用いられるものも沢山あります。そのうちのいくつかを紹介します。

ハンゲ 半夏

半夏は日本の多くの地域で見られるサトイモの仲間の植物です。生薬には球茎を使います。半夏の名前は夏の半ばに花が咲くことに由来するとされています。ちなみに、「半夏生」という言葉がありますが、こちらは雑節(ざっせつ)の一つで、夏至から、11日目をいいます。

半夏には止嘔、去痰、理気、鎮静の効能があり、吐き気、嘔吐、咳嗽(せき)、不眠などに用いられます。半夏は以下のような多くの漢方に配合されています。

- 大半夏湯
- 半夏瀉心湯
- 半夏厚朴湯
- 半夏白朮天麻湯
- 小半夏加茯苓湯
- 小青龍湯
- 二陳湯
- 二朮湯
- 釣藤散

半夏を含む漢方は他にもあります。



キキョウ 桔梗



桔梗も日本各地に生息していますが、近年は野生に自生するものは減少し、絶滅が危惧されているとされています。

生薬としては、根の部分が用いられ、成分のサポニンには鎮咳去痰作用があります。

桔梗を配合した漢方としては、桔梗湯、排膿散などがあります。ちなみにキキョウの花言葉は「永遠の愛」「誠実」だそうです。

オシロイバナ 白粉花



オシロイバナは種から白い粉が取れます。この粉を顔に塗り、「おしろい」として使用していたことから白粉花と名がついています。オシロイバナも生薬としては根の部分(紫茉莉根)が用いられ、利尿や関節炎を抑える作用などがあります。また、トリゴネリンという物質が含まれており、嘔吐、腹痛、下痢を起こす作用があります。この成分についてはアルツハイマー認知症予防に効果があるのではないかと研究がされているようです。

ちなみに花言葉は、「恋を疑う」「臆病」「内気」だそうです。桔梗とは大きく違いますね。

医師紹介コーナー

はじめまして。2022年4月から泌尿器科に勤務しております柴田康博と申します。私はいわゆる転勤族で、名古屋で生まれ、幼少時から大阪、東京、ロサンゼルス、東京を転々として、故郷というものがありませんでした。群馬大学医学部に入学後からは、30年以上群馬に住んでおり、ここが私の故郷だと思っています。高崎総合医療センターに勤務する前は、20年以上群馬大学泌尿器科に勤務し、泌尿器良性疾患、膀胱癌や前立腺癌をはじめとする泌尿器がんの診療を行うとともに、生殖医療専門医として男性不妊症患者の診療をしておりました。日本は世界でも類をみない少子高齢化社会に突入しており、対策が急務です。故郷群馬の西部中心である高崎において、これまでの経験を活かして泌尿器科医として泌尿器がんをはじめとする患者さんの診療に尽力し、一方で生殖医療医として子供を望まれる方の希望が叶えられる様に手助けし、2刀流として地域の中核病院としての使命を全うできる様に努力したいと思います。

なお、私の高崎総合医療センター勤務に伴い、泌尿器科の常勤医は2名から4名体制へ増員になりました。今後手術支援ロボットの導入も計画されており、ほとんどの泌尿器科疾患に対応可能ですので、これからどうぞよろしくお願いいたします。



●泌尿器科

しばた やすひろ
柴田 康博

この4月よりリハビリテーション科医師として赴任しました、荻原博と申します。高崎生まれ前橋育ちで、さいたま赤十字病院5年間の勤務以外はずっと群馬で生活してきました。趣味はクラシックピアノ（最近は聴く専門）と溪流釣り（里川ヤマメ）です。

昨年までは消化器外科医でしたが、今年からリハ医に転身しました。もともと大学院で消化吸収の研究を行い、卒業後も栄養管理重視の外科治療やNST（栄養サポートチーム）活動に力を入れてきましたが、長所を存分に活かすべくリハビリテーションに舵取りを行いました。疾患によらず栄養管理は重要ですが、特に運動障害・機能障害の改善にはエネルギーが重要です。適正な栄養管理のもと、1日も早く患者さんが回復し健康寿命を延ばせるように知識と経験を総動員して頑張ります。また、当院では、看護師・管理栄養士・リハビリスタッフらと協同で様々な介入を行う患者サポートセンターがありますが、こちらで入院前に栄養処方・運動処方を行い入院後のリスクを下げる画期的な活動を行います。

皆様、よろしくお願いいたします。



●リハビリテーション科

おぎはら ひろし
荻原 博

当センターの 医師を 紹介します!!



本年度より消化器内科医師として勤務させていただいております。本年度は群馬県済生会前橋病院と群馬大学医学部附属病院にて消化器内科医師として勤務し、研鑽を積んで参りました。群馬県みどり市で生まれ育ち、20数年前に県立前橋高校を卒業後、長いこと医療とは関係ない世界にいた私ですが、縁あって故郷に戻ってきて県内の医療に関わっていることはありがたいと感じております。消化器内科医としてはまだまだ学ぶことばかりであり、日々勉強の連続ではありますが、常により良い医療を提供できるよう、可能な限り患者様にわかりやすい説明と、丁寧な診察を心掛けたいと思います。高崎近郊の地域医療の中核である当院では、患者様の数も多く、取り扱う疾患は多種多様です。こうした医療ニーズの大きさとともにやりがいを日々感じております。しっかりと自分の役割をこなせるよう力を尽くしていきたいと思っております。どうぞよろしくお願ひ致します。



●消化器内科

かぶらぎ たくや
鏑木 琢也

この度高崎総合医療センター消化器科医師として勤務することになった古市望と申します。

群馬県藤岡市で生まれ、高崎高校に進学し、勉学とサッカーに励んできました。2020年に群馬大学医学部医学科を卒業しまして、公立藤岡総合病院で2年間初期研修を修了した後に、こちらにお世話になることとなりました。

初期研修の時に学んだ一番のことは医療スタッフ、患者、ご家族など多くの要素で医療は成り立っているということです。自分一人の力だけで成し遂げられることなんてほとんどありません。いつも周りのすべてに感謝を忘れず勤務にあたる所存です。

私が医師を志したのは高校時代になりますが、はっきりとした理由がある訳ではありません。ただ、人の役に立ちたい、といった漠然とした思いからであったと記憶しております。大きな転換点となったのは、初期研修が終わる直前に祖父が亡くなり、その時に初めて患者様、ご家族の気持ちを痛感致しました。

今の初心をずっと抱き続け、誠心誠意診療にあたらせていただきます。



●消化器内科

ふるいち のぞみ
古市 望

2022年度 市民公開講座のご案内

当院も後援している日本肝臓学会市民公開講座のご案内です。

2022年7月25日(月)から7月31日(日)の間、オンライン開催します。

今年の4月から新しく保険適用になった肝細胞癌の重粒子線治療や肝臓病の患者さんの栄養管理についてなどの講演があります。

当院の職員も講演しますので、是非、ご視聴ください。

会期

2022年
7月25日-31日

※オンライン開催になります

下記URLまたはQRコードからご視聴ください

https://kanzo.dept.showa.gunma-u.ac.jp/?page_id=488



座長 高崎総合医療センター 臨床研究部長 柿崎 暁 先生

講演1

『肝がんの重粒子線治療』

群馬大学医学部 腫瘍放射線学 渋谷 圭 先生

講演2

『肝臓病の栄養管理』

高崎総合医療センター 栄養管理室 上村 真帆 先生

講演3

『肝がんを早期に発見するために』

群馬大学医学部 消化器・肝臓内科学 戸島 洋貴 先生

主催：日本肝臓学会肝がん撲滅運動

共催：群馬大学医学部附属病院

後援：群馬県 群馬肝臓友の会 独立行政法人国立病院機構高崎総合医療センター

地域医療連携登録医 のご紹介

地域医療連携登録医の皆さまと
パートナーシップを組んで診療に取り組んでいます。

高井クリニック

院長あいさつ

乳腺専門医・消化器内視鏡専門医として、特に地域の乳がん・消化器がんの早期発見率の向上を目指して密接な病診連携をとりながら診療致しております。

また、専門分野のみならず、広く地域医療の向上発展に尽くして参る所存でございますのでよろしくお願い申し上げます。

高井クリニック
院長
高井 良樹



診療科・病院案内

外科・内科・乳腺外科・胃腸科

診療時間	月	火	水	木	金	土	日・祝
午前(9:00~12:00)	●	●	●	△	●	●	△
午後(14:00~18:00)	●	●	●	△	●	△	△

群馬県富岡市富岡3074-1 TEL:0274-60-1500
<http://www.takaclinic.com>

当クリニックでは外科・内科・胃腸内科・乳腺外科乳腺外来・甲状腺外来を中心に診療を行っております。院長以外のスタッフは看護師、放射線技師、薬剤師、事務職員の全員が女性です。
マンモグラフィ検査、経鼻の胃内視鏡検査、甲状腺検査などその他のことに関しても、お気軽にご相談ください。
※マンモグラフィ検査・胃カメラは予約が必要です。

多間内科クリニック

院長あいさつ

多間内科クリニックの院長、長島 多間(たもん)です。
医療を行うにあたり、「患者さんが、自分、もしくは自分の家族であった場合、どのような検査や治療をしていくか。」を意識し診察にあたってきました。今でもこの気持ちを忘れることなく診療に取り組んでおります。

目指すクリニックは、適切な医療をし、皆様に安心して頂けるクリニック。自分の家族、友人、知人に自信をもって紹介できるクリニック。

そのため、今までの経験を活かし、CTや内視鏡検査を導入し、継続的な医療支援を行い、職員全員で、皆様の笑顔を見られるようサポートしていきます。



病気のことでなく、気になる症状や健康上の相談でも、何かございましたら、お気軽にご相談ください。

多間内科クリニック
院長
長島 多間

診療科・病院案内

肝臓内科・消化器内科・総合診療内科

▲土曜午後は17時までとなります。

診療時間	月	火	水	木	金	土	日・祝
午前(9:00~12:00)	●	●	●	△	●	●	△
午後(15:00~19:00)	●	●	●	△	●	▲	△

群馬県高崎市福島町763-8 TEL:027-310-0600
<https://tamon-naika.com/>

病院でする検査を身近なクリニックでもできるようにになれば、と考え、造影剤を使用したCTでの検査や、内視鏡検査を行っています。
また、肝臓専門医を生かし、脂肪肝やお酒を飲みすぎて肝臓を悪くしてしまったことがある方をサポートしていきます。
精神疾患があり、お薬をたくさん飲まれてなかなか痩せられない方や、仕事が不規則で偏った食事になってしまっている方、なかなか痩せられなくなっている方。一緒に肝臓から脂肪を落としましょう。

セカンドオピニオンのご案内

当センターではセカンドオピニオン外来を
実施しております。
概要につきましては以下のとおりです。



対象患者さん

- 現在当センター以外の医療機関で診療を受けている患者さん、ご家族
- 現在の主治医（他医療機関）の診断及び治療方針について、当センター医師に参考意見を求め、患者さんご本人が自らの疾患をより理解し適切な診療を選択する等の為に、セカンドオピニオン外来の活用を望む方
- 主治医（他医療機関）からセカンドオピニオンを目的とした紹介状及びフィルム等の検査資料を当院に提供可能な患者さん、ご家族であることを要します（主治医にセカンドオピニオンを受けるための紹介状等をお願いすれば対応してもらえます）
- 相談者をご家族の場合は、原則として患者さんの同意を得た場合といたします

実施診療科

【各科の専門医が対応いたします】

内科、精神科、呼吸器内科、消化器内科、心臓血管内科、小児科、外科
乳腺・内分泌外科、心臓血管外科、脳神経外科、呼吸器外科、産婦人科
泌尿器科、眼科、放射線診断科、放射線治療科、歯科口腔外科



予約方法

完全予約制 代表電話：027-322-5901

※代表にお電話を頂き、『セカンドオピニオン係』とお申し付け下さい

【受付時間】 月曜～金曜 8時30分～17時の間

※精神科の受付時間は 月曜～金曜 8時30分～12時迄 となります

※事前にご予約電話を受け付け、担当専門医と日程調整を行った後に折り返し
当センターより連絡させていただきます

外来時間

セカンドオピニオン外来時間（診療科によって曜日は異なります）

月曜～金曜 13時30分から15時30分の間で調整

費用

30分以内 5,500円(消費税込み)

30分以上 11,000円(消費税込み)

セカンドオピニオンとは

セカンドオピニオンとは現在の自分の病状や治療方針について他の医師の意見を求めることをいいます。医療が進歩してさまざまな治療法が生まれています。

その結果、医師によって病気に対する考え方が違うことや、病院によって医療技術や診療の質に差があることも考えられます。治療法について具体的な比較ができ、より適した治療法を患者さん自身が選択することができます。

当センターでは、よりよい治療法を患者さん自身が選択できるように、セカンドオピニオンを積極的にお勧めしております。

セカンドオピニオン 外来担当表

科 名	医師名	専 門	曜 日
内 科	佐藤 正通	内科全般、血液内科	火
精 神 科	井田 逸朗	がんのメンタルヘルス	木
呼 吸 器 内 科	中川 純一	呼吸器全般	火、金
消 化 器 内 科	長沼 篤	消化器病一般、肝臓病	随時
	増田 智之	食道、胃、大腸	
心 臓 血 管 内 科	広井 知歳	狭心症・心筋梗塞の治療(カテーテル治療)	金
	太田 昌樹	不整脈一般	水
	福田 延昭	心不全、弁膜症	木
小 児 科	五十嵐 恒雄	小児科全般・未熟児・新生児	水
外 科	坂元 一郎	消化器外科全般	水
乳 腺・内 分 泌 外 科	鯉淵 幸生	乳がん全般・甲状腺外科	第1・3・5週 金(午前)
	高他 大輔	乳がん全般・甲状腺外科	随時
心 臓 血 管 外 科	小谷野 哲也	心臓血管の外科治療	火、木、金
呼 吸 器 外 科	伊部 崇史	肺がん、縦郭腫瘍、呼吸器外科全般	木
	高坂 貴行	肺がん、縦郭腫瘍、呼吸器外科全般	火
脳 神 経 外 科	田中 志岳	脳腫瘍	月
	笹口 修男	水頭症、脳外科一般	木
	佐藤 晃之	血管障害	金
産 婦 人 科	伊藤 郁朗	婦人科腫瘍	月、火、金
泌 尿 器 科	井上 雅晴	泌尿器科全般	火
眼 科	土屋 明	眼科全般(眼腫瘍を除く)	水、木
放 射 線 診 断 科	根岸 幾	画像診断CT・MR中心	木
	佐藤 洋一	画像診断CT・MR中心	火
放 射 線 治 療 科	永島 潤	悪性疾患の放射線治療	
歯 科 口 腔 外 科	稲川 元明	口腔顔面痛	火、水、木、金
	薬師寺 孝	口腔外科全般、顎変形症、インプラント	月、火、木、金

外来診療担当表

当センターは、地域医療支援病院として運営しております。
かかりつけ医の先生からの紹介状をご持参願います。

	月	火	水	木	金
総合診療科・内科	佐藤 正通 飯塚 堯	佐藤 正通 <small>予約のみ</small> 植原 大介	木村 彰仁 <small>午前</small> (真下 大和) <small>予約のみ</small>	佐藤 正通 (合田 史) <small>午後・予約専門外来</small>	佐藤 正通 木村 彰仁 <small>午前</small>
栄養食事指導外来		佐藤 正通 <small>午後</small>			
内分泌代謝内科	渋沢 信行	新井 茉莉 (植原 良太)	植原 正也 新井 茉莉	渋沢 信行 <small>午後</small>	渋沢 信行 植原 正也
神経内科	(池田 雅美) 平柳 公利 <small>初診のみ</small>	平柳 公利	菊池 雄太郎 平柳 公利 <small>初診のみ</small>	丸山 琴音 <small>午前</small> (古田 夏海) <small>午後・新患外来</small>	清水 一輝
呼吸器内科	中川 純一 神山 花凛 <small>午前</small>	細野 達也 内田 恵	田口 浩平 黒岩 裕也	中川 純一 板井 美紀	細野 達也 内田 恵
消化器内科	長沼 篤 <small>午前</small> 安岡 秀敏 <small>午前</small> 上原 早苗 <small>午前</small> 都丸 翔太 <small>午前</small> (石原 弘) <small>午後</small>	星野 崇 <small>午前</small> 鈴木 悠平 <small>午前</small> 佐野 希望 <small>午前</small> 都丸 翔太 <small>午前</small>	柿崎 暁 <small>午前</small> 安岡 秀敏 <small>午前</small> 増田 智之 <small>午前</small> 成清 弘明 <small>午前</small> (石原 弘) <small>午後</small>	長沼 篤 <small>午前</small> 増田 智之 <small>午前</small> 鈴木 悠平 <small>午前</small> (工藤 智洋) <small>第2,4週午後</small>	星野 崇 <small>午前</small> 佐野 希望 <small>午前</small> 鍋木 琢也 <small>午前</small> 古澤 愛望 <small>第1,3,5週午前</small> 古市 望 <small>第2,4週午前</small> (岡野 祐大) <small>午後</small>
上部内視鏡検査	星野 / 増田 / 成清	安岡 / 増田 / 鍋木	上原 / 佐野 / 都丸	上原 / 佐野 / 都丸	長沼 / 鈴木 / 岡野
心臓血管内科 (循環器)	太田 昌樹 <small>午前・通常 / 午後・不整脈外来</small> 村田 智行 <small>午前</small> 大駒 直也 <small>第1,3週午前</small>	小林 洋明 高橋 伸弥 <small>午前</small> (金澤 紀雄) <small>再来</small>	広井 知歳 太田 昌樹 <small>午後・不整脈外来</small> 羽鳥 直樹 <small>午前</small>	福田 延昭 <small>午前</small> 高橋 洋右 <small>第1,3週午前</small> 千古 良彩花 <small>第2,4週午前</small> (金澤 紀雄) <small>再来</small>	太田 昌樹 <small>第2,4週午後・ペースメーカー外来</small> 小林 紘生 <small>午前・通常 / 午後・不整脈外来</small> 柴田 悟 <small>午前</small>
新患外来 (午前)	高橋 伸弥	柴田 悟	村田 智行	羽鳥 直樹	小林 洋明
精神科	井田 逸朗 山崎 雄高 <small>午前</small>	井田 逸朗 山崎 雄高 <small>午前</small>	井田 逸朗 山崎 雄高 <small>午前</small>	井田 逸朗 山崎 雄高 <small>午前</small>	井田 逸朗 山崎 雄高 <small>午前</small>
小児科	五十嵐 恒雄 <small>午前</small> 内田 亨 <small>午後</small> 御任 紫野 <small>午後</small> (荒川 篤康) <small>午前</small>	五十嵐 恒雄 <small>午後</small> 倉田 加奈子 <small>午前</small> 坂本 康大 <small>午後は第1,2,3,5週のみ</small> (神尾 綾乃) <small>第4週午後</small>	五十嵐 恒雄 <small>午前</small> 倉田 加奈子 <small>午後</small> 佐藤 幸一郎 <small>午後</small> (滝沢 琢己) <small>第2,4週午後</small> <乳児健診> <small>午前</small>	倉田 加奈子 <small>午前</small> 植原 実紅 <small>午後</small> 柴塚 拓巳 <small>午後</small> (西澤 拓哉) <small>午後</small> (岩脇 史郎) <small>午前</small>	五十嵐 恒雄 <small>午後</small> 佐藤 幸一郎 <small>午後</small> 永井 裕介 <small>午後は第1,2,4,5週のみ</small> (浅見 雄司) <small>第3週午後のみ</small>
小児外科		(西明・高澤慎也) <small>第4週午後</small>	(西明・高澤慎也) <small>第1,3週午後</small>		
外科 (消化器)	坂元 一郎 <small>午前・通常 / 午後・肝胆専門外来</small> 田中 成岳 <small>午前・通常 / 午後・食道専門外来</small>	小川 哲史 <small>午前</small> 星野 万里江 <small>午前</small> 小川 哲史 <small>午前</small> 小川 哲史 <small>午後</small>	岡田 幸士 <small>午前・通常 / 午後・上部消化器専門外来</small> 生方 泰成	平井 圭太郎 <small>午前・通常 / 午後・肝胆専門外来</small> 午久保 陸生 <small>午前</small>	宮前 洋平 <small>午前・通常 / 午後・下部消化器専門外来</small> 井田 晃顕 <small>午前</small>
栄養サポート外来					
禁煙外来					
ストーマ外来			第2,4週午後・予約	予約	

1 外来診療受付時間

8:30 ~ 11:00迄 (予約の場合は最終予約時間まで)

※再来受付機は8:00から受付しています

- 紹介状をお持ちの方、紹介事前予約の方は、1番：紹介状をお持ちの方・地域医療連携窓口で受け付けております。
- 当センター受診にはかかりつけ医の先生からの紹介状をご持参ください。紹介状をお持ちでない方は、診察をお受けできない場合や、長時間お待ちいただく場合がございます。
- 受診時にはお薬手帳、薬剤情報提供書または飲んでいるお薬をご持参ください。

2 休診日 土、日、祝日、年末年始

- 学会等により、休診または医師が交替する場合があります。院内掲示をご覧ください。



地域医療支援・
連携センターから
地域の先生へお願い

当センターへの紹介の際は、
地域医療支援・連携センターを通じた
事前予約にご協力下さい。

	月	火	水	木	金
泌尿器科	井上雅晴 栗原聰太 <small>午前</small>	栗原聰太 柴田康博 <small>午前</small>	交代制	柴田康博 井上雅晴 <small>午前</small>	交代制
疼痛緩和内科	田中俊行 鯉淵幸生 <small>午前</small>	田中俊行 鯉淵幸生 <small>午前</small>	田中俊行 鯉淵幸生 <small>午前</small>	田中俊行 田中野美里 <small>第2,4週午後</small>	田中俊行 高他大輔 <small>午前</small>
乳腺・内分泌外科	徳田尚子 成澤瑛理子 <small>午前</small>	高他大輔 徳田尚子 成澤瑛理子 <small>午前</small>	高他大輔 徳田尚子 <small>午前</small>	(中澤祐子) 交代制 <small>第1,3,5週午後 午前・予約</small>	徳田尚子 成澤瑛理子 <small>第1,3,5週午前 第2,4週午前</small>
心臓血管外科	<手術日>	交代制	<手術日>	小谷野哲也 羽鳥恭平 <small>午前</small>	茂原淳 <small>午前</small>
呼吸器外科	<手術日>	伊部崇史 高坂貴行	<手術日>	伊部崇史 高坂貴行	<手術日>
整形外科	荒毅 信太晃祐 遠藤史隆	大澤敏久 齋藤健一 加地卓万	荒毅 信太晃祐 一ノ瀬剛 加地卓万	新井厚 遠藤史隆 <手術日>	大澤敏久 齋藤健一 一ノ瀬剛
形成外科	<手術日>	中村英玄	中村英玄	中村英玄	交代制
脳神経外科	田中志岳 (井上千鶴) <small>午前</small>	栗原秀行 上原顕仁 <small>午前</small>	<手術日> 上原顕仁 <small>午前</small>	笹口修男 上原顕仁 <small>午前</small>	佐藤晃之 上原顕仁 <small>午前</small>
皮膚科		(茂木精一郎) <small>第2,4週午前</small>	西尾麻由 <small>午前</small>	西尾麻由 <small>午前</small>	西尾麻由 <small>午前</small>
産婦人科	伊藤郁朗 黒住未央 東杏莉	青木宏 黒住未央 大枝涼平	<産後健診>	(金井眞理) 交代制 <small>午前</small>	伊藤郁朗 青木宏 東杏莉
遺伝性腫瘍外来				伊藤郁朗	
眼科	土屋明 <small>紹介・予約</small>	土屋明	土屋明	土屋明	土屋明
眼形成眼窩外科	笠井健一郎 <small><手術日></small>	笠井健一郎 <small><手術日></small>	笠井健一郎	笠井健一郎 <small><手術日></small>	笠井健一郎
耳鼻いんこう科	高橋克昌 岡宮智史	岡宮智史	<手術日>	高橋克昌	高橋克昌 岡宮智史 <small>午前</small>
放射線治療科	永島潤 大高建 <small>紹介・予約</small>	永島潤 大高建 <small>紹介・予約</small>	永島潤 大高建 <small>紹介・予約</small>	永島潤 大高建 <small>紹介・予約</small>	永島潤 大高建 <small>紹介・予約</small>
歯科口腔外科	柴野正康 <small>紹介・予約</small>	<手術日>	薬師寺孝 <small>紹介・予約</small>	薬師寺孝 柴野正康 <small>紹介・予約</small>	<手術日>
新患外来	薬師寺孝 <small>紹介・予約</small>		柴野正康 <small>紹介・予約</small>	交代制	
歯科(歯科麻酔) 摂食嚥下・口腔ケア外来	稲川元明 木村将典 倉持眞理子 <small>第1,3,5週のみ、紹介・予約</small>	稲川元明 倉持眞理子 (荒井亮・辻野啓一郎) <small>第2,4週のみ、紹介・予約</small>	稲川元明 木村将典 倉持眞理子 <small>紹介・予約</small>	稲川元明 木村将典 <small>紹介・予約</small>	稲川元明 倉持眞理子 <small>紹介・予約</small>

() の医師は非常勤です。

令和4年6月1日現在

3 予約について

当院は「医療機関からの紹介患者事前予約制」をとらせていただいております。

医療機関様にはお手数をおかけしますが、予約の際には「事前予約申込書」に必要事項を記載し、地域医療支援・連携センターへFAXにてご依頼ください。折返しお電話で予約日時の連絡をさせていただきます。

※分娩希望についてはこの限りではありません。

※心臓血管内科は平日8:30~11:00までに紹介状を持参のうえ来院していただきますと当日受診が可能です。

※消化器内科で早めの対応が必要な患者さんは平日11:00~15:00までに紹介状を持参のうえ来院していただければ対応させていただきます。(予定での紹介が可能な患者さんは地域医療支援・連携センターを通しての予約をお願いします。)

4 連絡先

高崎総合医療センター内 地域医療支援・連携センター

医療機関専用ダイヤル: 027-322-5835 《平日 8:30~18:30 / 土曜日 8:30~17:15》

FAX: 027-322-5925 《FAXは24時間受け付けています。お返事は翌営業日になります》

コロナ禍での葬儀のかたち

院長閑話

vol.15

やっと新型コロナ感染症が収まりつつあるようで、社会全体が少しずつ活気を取り戻しつつあるようです。しかし、コロナが収まってもコロナ前のように戻らないだろうことが沢山あります。例えば、会議や各種セミナーなどはZOOMなどを使った方が便利で、今後は以前のようにみんなで集まって…、というような形は少なくなるでしょう。

葬儀の形式もずいぶん変わりました。読売新聞にシリーズで連載中の「コロナ警告」の6月3日版「ゆらぐ対人関係」に、コロナ禍で変貌した葬儀に関する記事が載っていました。これまでの「一般葬」は、通夜と告別式を行い知人や地域住民など幅広い人達に参列してもらう形式でしたが、コロナ禍で密を避けるために簡略化が進み、親戚や近親者のみが参列する「家族葬」や、通夜はなく告別式のみ「一日葬」、また葬儀を行わず火葬のみの「直葬」が増え、特に「直葬」は2020年の4.9%から今年の3月には11.4%に増加したとのこと。また首都圏の1都3県では、すでに「一日葬」が主流で、19年の4割から21年には7割に達しているそうです。私が連絡をいただいた葬儀もほとんどが家族葬でした。さらに驚いたことに「オンライン葬儀」や「ドライブスルー葬儀」も普及しているようです。

先日、外科の先輩で、今は老人施設の嘱託医をしている先生が、フェイスブックに投稿した内容にビックリしました。以下、原文のまま引用します。

「先日、担当している老人ホームの入居者が老衰で亡くなった。状態が悪くなった時に家族（東京在住）へ電話で連絡したら“亡くなったらそちらで火葬までして遺骨は送ってほしい”と返事があった。結局その後1週ほどして亡くなったので、老人ホームが葬儀社を手配してお坊さんに読経してもらい火葬。遺骨は宅急便で家族の元に送った。（貴重品、天地無用、割れ物注意?）。ホームで亡くなった方の遺骨の宅配依頼が最近だけで3件程あった」

宅急便は本当に便利で、私もアマゾン等で宅配のヘビーユーザーですが、それにしても遺骨も送れるとは驚きです。ネットで「宅急便で送れないもの」を検索すると、現金や有価証券、カード類、犬やネコ、小鳥などのペット類、毒物および劇物類、銃砲刀剣や火薬類などとともに、遺骨、位牌、仏壇とありますが…。

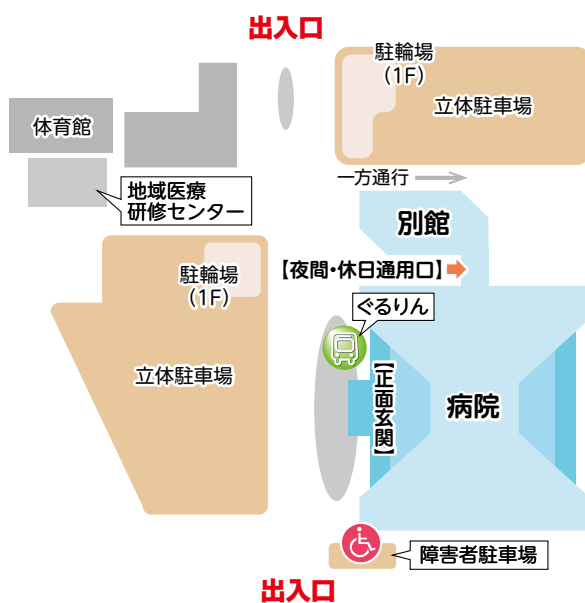
コロナ禍は、私たちがこれまで受け継いできた手間のかかる慣習を一挙に壊した気がします。「負担が減った」との歓迎の声も多いようで、今後、葬儀に限らずコロナ禍で省略や簡素化された様々な儀式が復活するのかどうか疑問です。葬儀の形式は様々でしょうが、亡くなってから遺体を火葬、茶毘に付すまでほんの短時間でいい、しかも遺骨が宅配業者の手で運ばれるのは、あまりに寂しすぎると思いますよね…。

(6月14日)



病院長 小川 哲史

高崎総合医療センター案内図



出入りについて

平日7時30分～17時15分は
正面玄関を
ご利用ください。

平日17時15分～翌朝7時30分、
土日祝日は
夜間・休日通用口を
ご利用ください。

編集室より

登録医の先生方からのご寄稿・ご意見をお待ちしております。
地域医療支援・連携センターまでご連絡をお願い致します。

電話 **027-322-5835** (医療機関専用ダイヤル)

独立行政法人・国立病院機構
高崎総合医療センター